

令和元年度オホーツク総合振興局

道営農業農村整備事業等環境情報協議会

を開催しました。

◎協議会議事概要

令和元年7月31日

【意見交換】

オホーツク総合振興局4階1号会議室において、令和元年度調査計画地区及び計画変更予定地区に関する意見交換を行いました。協議会では、各担当者から計画地区周辺で行った現地調査や地域に存在する動植物の状況が報告され、市町村田園環境マスタープランに基づいた環境配慮の考え方や対策、施工時の留意点などの意見や質問、情報提供等について積極的な話し合いが行われ、委員の方々から貴重な意見を頂きました。これらの意見や情報を参考に、今後の農業農村整備事業のあり方やこれまでに育んできた地域の自然環境を次の世代へ引継げるよう環境と調和した事業計画を進めるとともに、動植物の生育環境を確保しつつ農業生産性向上が図れるよう、バランスの取れた事業運営を進めていきたいと考えています。



意見交換会



農道（国有林近接部）

小清水南第2地区



現地説明風景



区画整理予定地



沈砂地現況

網走藻琴地区



排水路予定地

女満別東部高台2地区

令和元年度オホーツク総合振興局道営農業農村整備事業等環境情報協議会

次 第

日 時：令和元年7月19日（金曜日） 9：30～17：00

場 所：1. 対象地区説明（オホーツク総合振興局東部耕地出張所）
2. 現地視察（小清水町、大空町）

1. 対象地区説明 9：30～12：00

水利施設等保全高度化事業（特別型：畑地担い手育成） 常呂第3土佐地区
水利施設等保全高度化事業（特別型：畑地担い手育成） 網走南部西第2地区
水利施設等保全高度化事業（特別型：畑地担い手育成） 中央美和地区
水利施設等保全高度化事業（特別型：畑地担い手育成） 小清水南第2地区
水利施設等保全高度化事業（特別型：畑地担い手育成） 女満別東部高台2地区
農地中間管理機構関連農地整備事業 拓実地区
農村地域防災減災事業（用排水施設整備等） 常呂姉問 地区
農地防災事業（ため池等整備事業） 日吉左岸 地区
農地整備事業（通作条件整備：保全対策型） 端野一区 地区
農地整備事業（通作条件整備：保全対策型） 幸岡 地区
令和元年度計画変更予定地区（協議対象） 10 地区

2. 現地視察 13：00～16：30

3. 意見交換会 16：30～17：00

4. 閉 会 17：00

令和元年度オホーツク総合振興局道営農業農村整備事業等環境情報協議会 出席者名簿

日時: 令和元年7月19日

場所: オホーツク総合振興局東部耕地出張所、現地(小清水町、大空町)

所 属 等	氏 名	備 考
北海道本部オホーツク技術士委員会	川嶋 淳史	協議会構成員(環境専門家)
オホーツク管内指導農業士・農業士会	和崎 陽一	協議会構成員(農業者代表)
農業経営、美幌町土地改良連合期成会	山谷 朋之	協議会構成員(地域住民代表)
網走消費者協会	武藤 智子	協議会構成員(地域住民代表)
オホーツク総合振興局 産業振興部 調整課 主幹(事業企画)	酒井 功	事務局長
オホーツク総合振興局 産業振興部 調整課 主査(地域計画)	山崎 順司	事務局
オホーツク総合振興局 産業振興部 調整課 地域計画係長	久保田 利之	
オホーツク総合振興局 産業振興部 調整課 主任	滝柳 泰文	
オホーツク総合振興局 産業振興部 調整課 主事	成田 将幸	
オホーツク総合振興局 産業振興部 調整課 技師	小笠原 剛	
オホーツク総合振興局 産業振興部 調整課 主事	倉沢 雄介	
オホーツク総合振興局 産業振興部 調整課 主事	佐々木 佑樹	
オホーツク総合振興局 産業振興部 調整課 主事	戸田 善允	
オホーツク総合振興局 産業振興部 整備課 主査(農村整備)	上川 利彦	

令和元年度 環境情報協議会議事録

- 1 開催月日：令和元年7月19日（金）9：30～16：30
- 2 場 所：オホーツク総合振興局東部耕地出張所2階会議室
現地確認（小清水町、網走市、大空町）
- 3 出席者：（委員）
川嶋委員、和崎委員、山谷委員、武藤委員
（オホーツク総合振興局）
調整課 酒井主幹、山崎主査、久保田係長、滝柳主任、成田主任、小笠原主任、
倉沢主事、佐々木主事、戸田主事
整備課 上川主査
- 4 配布資料：「令和元年度オホーツク総合振興局 道営農業農村整備事業等環境情報協議会資料」

5 行程

	時 刻	場 所	説 明 内 容
①	9:30～12:00	東部耕地2階会議室	新規計画10地区、計画変更地区の事業説明
②	13:00～16:30	小清水南第2地区（小清水町） 網走藻琴地区（網走市） 女満別東部高台2地区（大空町）	新規地区の現地確認、事業実施後の環境配慮 施設の現況説明

6 議事録

	<p><司会：9:30 開始></p> <p>司会者（山崎主査） 皆様、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。当協議会の事務局の窓口を担っている振興局調整課の山崎と申します。本日は、司会進行を務めさせていただきます。よろしくお祈りします。では、ただいまより道営農業農村整備事業等オホーツク総合振興局環境情報協議会を開催します。会議に先立ち、振興局調整課主幹の酒井よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>開会挨拶（酒井主幹） 本日は、ご多忙の折、当協議会にご出席いただきありがとうございます。さて、昨今の農業行政は、多様化する国際情勢の中、農業競争力の強化、国内の自給率の向上、農業の持続的発展など大きな目標を掲げ様々な農業施策を取り進めてきております。この中で、私たちが関わっている農業農村整備事業は、地域の要望を受け、これから説明をおこなう様々な基盤整備を行っています。オホーツク管内の農業はその地域地域により、多種、多様な農業が営まれ、それぞれの目的に応じた基盤整備の要望が日々上がってきております。昭和30年代に始まる、我々の事業は現在も地域の各所で盛んに行われていますが、この事業は主に土地改良法により取り進められております。この法律の中で、事業の原則として、平成14年に「環境と調和への配慮」が義務付けられました。同年にこの環境情報協議会を設立し、以降、外部の皆様との意見交換を行わせていただいております。このことは、行政の透明性を図る上でも重要であり、又、色々な視点でのご意見をいただくことが、より行き届いた事業計画の策定につながることを期待しております。本年は、新規地区10地区と計画変更地区について、意見交換そして、小清水町、大空町にて、現地の説明をさせていただきますが、ご出席のみなさまのそれぞれの幅広い見地で、限りある時間の中、活発な意見交換を行い、環境に配慮しつつ、更なる農業の発展につながるような会議の成果を祈念し、開会の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお祈りします。</p> <p>司会者 それでは、本日の会議の出席者をご紹介します。（以下、出席者紹介内容は省略）</p> <p>会議主旨説明（司会者） それでは、これから会議に入りますが、地区別の説明に入る前に、本会議の意義・目的について若干説明させていただきます。まず、土地改良法という法律のもとに我々の事業のほとんどは進められております。この土地改良法については平成14年に改正が行われ「事業を行う際には環境と融和・調和をしなければならない、配慮しなくてはならない」ということが義務づけられました。これを受けて各市町村に働きかけ、地域の環境をどのように配慮するかを定めた田園環境マスタープランを制定してもらっております。これから説明する各地区についてもこのマスタープランに整合をとる形で実施することになっております。そのことについては、お配りしている各地区の調書の右上に整理しております。加えて、その内容については透明性をしっかりと確保して、外部の皆様との意見交換も積極的に行うために同じ平成14年に各振興局で環境情報協議会が設立され、本協議会もその一つと位置づけられております。以上、本協議会の意義・目的をご説明させていただきました。それでは、いよいよ会議に入っていきます。対象地区の説明を資料に沿って行わせていただきます。まずはじめに、計画係長から主要工事のイメージを説明させていただいて、その後各地区の個別説明に移らせていただきます。</p> <p>各種事業工種説明（地域計画係長） オホーツク総合振興局調整課の久保田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私からは各地区に共通して行う工種の概要を説明させていただきます。当所管の事業は、「水利施設保全高度化事業」畑地整備が多数を占めており、この共通する工種概要を説明させていただきます。（以降資料P1～P12に沿って説明）以上、各地区に共通する工種の概要の説明が終わりました。専門的な用語が生じておりますが、「客土」は、畑に客を招くといったことでよそから土を持ってくる工事、「除レキ」は、畑の下の石を取り除く工事となっております。今後の議事の中でも、専門的な用語での説明が生じますが、不明な場合は遠慮無くご質問をいただければ幸いです。</p> <p>司会議事進行 共通工種の説明に対しご質問を受け付けます。ご質問が無いようですのでこれから、地区別の説明に移らせていただきます。尚、説明に際しては、各地区共通する工種で、環境配慮内容が同一な場合は、時間の効率化のため、説明を省略させていただきます。では、担当地区別に説明します。</p> <p>地区別説明① ①常呂第3土佐地区（資料P14～P18）の説明 当地区の説明が終わりましたが、一点あらかじめお伝えしたいことがあります。本資料中、「地区内で目撃された動物や昆虫（目撃法）の記載について、「なし」と記載されておりますが、地区内には、はちや蝶など多かれ少なかれ生物が存してはいますが、時期的な問題もあり、目撃出来ない状況となっております。このことは、他の地区も共通する事象となっておりますが、引き続き、動物、昆虫の確認を続け事業計画に反映させていただく予定ですのでご了承ください。それでは、当地区の質疑、意見交換を行います。</p> <p>質疑回答 （質疑）既存の鉄製コルゲート管の耐用年数は。 （回答）コンクリートでは30年、40年といったオーダで、鉄製はそれより短く、おそらく20年、25年くらいと考えられますが当時の事業上での定義、設定年数は不明です。又、現在は、軟弱地盤に対応するプラ性で強度のある資材がありますが昔は、それが無く、腐食の恐れがあり耐用年数の短い鉄性が軟弱地帯の工法として多く見受けられました。</p> <p>質疑回答 （質疑）今回設置する管は、既存と同じ管の大きさと整備するのでしょうか。 （回答）（複数ヶ所の整備を予定しているが）おおよそ現在の管より大きくする計画です。</p> <p>質疑回答 （質疑）流域が同一なら、水理上管の大きさに変化が生じ無いですか。 （回答）前歴は、国営の比流量を使用し管径が決まっているが、その後数十年が経過し、雨量強度を含め水水理諸元に変化がみられている。</p>
--	--

	<p>北見周辺では、ライトコロ川の比流量の見直しなどの事例もあり、時代の変化につれ 水理諸元の変化 が現れ増加傾向となっている。</p> <p>(意見) 原状回復レベルではなく、現状を見据え管径の設定を行って欲しい。</p>
地区別説明②	<p>②網走南部西第2地区 (資料P19～P22) の説明</p> <p>(質疑) 農作業準備休憩施設とはどのようなものですか。</p> <p>(回答) 施設の形状は、一階建ての会館のようなもので、当地区は営農集団が共同作業をする上で、移植、収穫時など多このときはアルバイトを含め20人から30人規模の集団作業となります。</p> <p>際の農作業の打ち合わせや、食事場所などとして有効に活用し、農作業の効率化を図る目的を有しています。</p> <p>(意見) 施設にはそれなりの駐車スペースの確保も必要ですね。</p>
質疑 回答	
地区別説明③	<p>③中央美和地区 (資料P23～P28) の説明</p> <p>・意見、質疑特になし</p>
地区別説明④	<p>④小清水南第2地区 (資料P29～P34) の説明</p> <p>・意見、質疑特になし</p>
地区別説明⑤	<p>⑤女満別東部高台地区 (資料P35～P40) の説明</p> <p>・意見、質疑特になし</p>
地区別説明⑥	<p>⑥拓実地区 (資料P41～P43) の説明</p> <p>(質問) 受益者が1戸とはどのような状況か。</p> <p>(回答) 離農地域に対し農地中間管理機構が対応し、生産法人1団体が、耕作地を取得した上で基盤整備を行う計画としています。</p> <p>その他質問事項</p> <p>(質問) リールマシンとはどのようなものですか。</p> <p>(回答) 水道管みたいな配管に機械を取り付け畑に散水する機械のことです。今年は、水不足により、散水施設がフル稼働している状況です。</p> <p>*今年は雪が少なく、雪解けが早かったことで、地下水位もかなり低下している様に感じられます。</p> <p>(質問) リールマシンはどのようなものですか。</p> <p>(回答) 動力を用い、水圧をかけることにより(ドラム板を回転し)ホースが自動延伸し、(無人で)散水する仕組みです。このほかには、立ち上がり給水栓もあります。</p>
質疑 回答	
地区別説明⑦	<p>⑦常呂姉間地区 (資料P44～P49) の説明</p> <p>(質疑) 整備する排水機場の吐出能力は。</p> <p>(回答) 現状として口径φ800が2台存しており、それぞれ1.4トンの排出量で総計毎秒3トン近くと考えられます。</p> <p>(質疑) どのような整備を行うのか。</p> <p>(回答) 分解し整備を行うものや製造中止の部品の更新を行うものです。</p> <p>もともとは、1台のみの施設でしたが、能力不足が顕在化し、新たに1基追加され、現状の2基となっております。</p> <p>当初設置の施設が古くエンジンの代替部品が調達出来ない実情もあります。</p>
質疑 回答	
地区別説明⑧	<p>⑧日吉左岸地区 (資料P50～P56) の説明</p> <p>(説明補足意見) 当地区の接続河川には、フクドジョウ等自然の水中生物が生息していますが、本工事は、周辺の平場の掘削であり自然へのダメージは無いと考えますが、工事にあたっては、汚濁水を発生させないなどの配慮を尽くす考えています。</p>
地区別説明⑨	<p>⑨端野一区地区 (資料P57～P61) の説明</p> <p>(説明補足意見) 当地区は、路盤再生を行うなど、廃棄物の減量化を目指した環境負荷低減を目標としています。</p> <p>今後その工法が可能かの検証を行い実施していく予定です。</p> <p>(質疑) その工法が出来るか出来ないかの判断はどのように行いますか。</p> <p>(回答) 既存の砂利、アスファルトは何十年も経つと色んなものが混じってきていますので、これら土の混入度合い、骨材の強さ(強度)、大きさなどを調べて、再生工法が可能か判断します。</p> <p>尚、十勝、網走など、この工法の実証事例はあるので、現実的には可能な工法と考えています。</p> <p>(意見) (環境負荷低減のため) この工法の採用が増えると良いですね。</p> <p>(回答) 道路管理者である市町村が維持補修で行う規模を越える改修となるため、今後点検診断を取り進め、経済性、安全性も考慮しながら構造の検討を行って行きたいと考えています。</p>
質疑 回答	
地区別説明⑩	<p>⑩幸岡地区 (資料P62～P66) の説明</p> <p>・意見、質疑特になし</p>
計画変更説明 (整備課主査)	<p>計画変更予定地区 (資料P67) の説明</p> <p>・意見、質疑特になし</p>
現地確認①	<p>現地確認</p> <p>①小清水南第2 (1号農道)</p> <p>(現地質問) 農道起点部に大きな沈砂地を設ける計画であるが、周辺から水が集まるのですか。</p> <p>(回答) 地形的に水が多く集まります。</p> <p>(現地質問) 集まった水をどのように処理するのですか。</p> <p>(回答) 近くに排水が無いため浸透させ処理をします。</p> <p>(現地質問) この林はどのような目的のものですか。</p> <p>(回答) 国有の保安林です。</p>
質疑 回答	
現地確認②	<p>②網走藻琴地区 (施行済み沈砂地)</p> <p>(質問) 現地発生のすき取り物の再生利用を行って旺盛に繁茂していますが東側の斜面はほとんど繁茂していない理由は。</p> <p>(回答) 盛土側は、再生利用となるが、切土側は、安定法勾配を確保しつつ、経済性を考慮し植生を行っていないため、植生状況が大きく異なります。</p>
質疑 回答	
現地確認③	<p>③女満別南部第2 (1号排水路)</p> <p>(質問) 新堀の排水路予定地に接する法面の崩落が著しいですが、この崩落ヶ所を掘削し、排水路の法面とするのですか。</p> <p>(回答) 一般的な設計思想としては、①安定法勾配を確保した上で、切り土を行うか②新設で既存用地がないことからセンターを工夫し、崩落ヶ所を避けた位置に水路を構築するかなどが考えられます。</p>
質疑 回答	
司会議事進行	<p>以上で、全ての説明が終わりました。全体を通して、ご質問、ご意見等ございますか。</p> <p>特に無い様ですので、閉会の挨拶に移らせていただきます。</p>
閉会挨拶 (酒井主幹)	<p>本日は、当会議にご参加いただき、たくさんの貴重なご意見をいただきました。誠にありがとうございます。中には、私たちが気がつかないご意見もあり、参考とさせていただきます。事業を取り進めていきたいと思っております。貴重なご意見本当にありがとうございます。</p> <p>さて、本日の会議については、会議冒頭のお話させていただいた透明性の確保の観点から当振興局調整課のホームページにて開催結果を公表させていただきます。この件についてご了承願います。</p> <p>本日は、みなさまのお力沿いをいただき会議を有意義に終えることができました。この場でお礼を申し上げ閉会の挨拶とさせていただきます。</p>